

# 令和6年度 社会福祉法人 三彩の里

## 令和6年度社会福祉法人 三彩の里 本部 事業報告

事業名	開催日	場所	人数	内容
1. 会務の運営 (1) 監査	6年5.23	会議室	4	1. 令和6年度事業執行状況・会計について
(2) 理事会 (第1回)	6年5.25	会議室	7	1. 令和5年度事業報告について 2. 令和5年度収支決算について 3. 評議員選任の件 4. 給与規定一部改正の件 5. 定時評議員会招集 報告事項；監事監査報告
(第2回)	7年3.29	会議室	6	1. 令和6年度補正予算について 2. 令和7年度事業計画について 3. 令和7年度三彩の里会計当初予算について 4. 「セクハラ防止規定」の廃止及び「職場におけるハラスメントの防止に関する規定」の制定の件 5. グループホームパピルス運営規定一部改正の件 報告事項；長崎県福祉保健部監査指導課による運営指導の結果について ・グループホームパピルス；令和6年8月21日実施 ・三彩の里；令和7年1月28日実施
(4) 評議員会 (第1回)	6年6.26	会議室	7	1. 令和5年度社会福祉法人三彩の里会計決算承認の件 報告事項 ① 監事監査報告 ② 令和5年度事業報告について ③ 社会福祉充実計画について ④ 新評議員紹介
2. 研修会・ 委員会等への 参加	6年4.20 5.3~5 5.29	大村市 大村市 大村市		向陽学園 100周年記念式典 三彩の里陶器まつり 大村市自立支援協議会

5.31	大村市	大村市障害者ネットワーク
6.3	大村市	優先調達プレゼンテーション
6.4	長崎市	長崎県身体障害児者協研修会
6.6	長崎市	長崎県 Selp 協代表者会
6.19	長崎市	長崎県経営者協議会総会
6.26	WEB	日本セルフセンター総会
8.3	長崎市	向陽学園 100 周年記念祝賀会
8.23	長崎市	紅葉病院 100 周年記念祝賀会
9.3	長崎市	長崎県経営者協議会前期セミナー
9.11~12	熊本市	身障協九州大会
12.13	長崎市	工賃向上セミナー
12.20	長崎市	長崎県 Selp 協代表者会
1.23~24	長崎市	サビ管更新研修
2.5	長崎市	長崎県経営者協議会後期セミナー
2.27~28	東京都	全国社会就労センター長研修会
3.13	大村市	大村市自立支援協議会
3.22	大村市	地域連携推進会議
3.25	長崎市	長崎県経営者協議会総会
3.28	長崎市	長崎県 Selp 協代表者会

## 令和6年度 就労継続支援B型事業報告

令和6年度は地域イベントへの出店や出張陶芸教室、除草作業など施設外での活動機会が増加し、売上げも増加している。

一方で原材料費・光熱水費等の高騰は、各課利益の圧迫を行っている状況で年度末には、原価計算や広範囲での価格見直しを実施した。

工賃については利用者に期末手当を支給し、目標工賃（24,223円）を達成しているが、継続した工賃向上を目指すうえでは常に収入と利益向上に努める必要があり、工賃評価表についても従来の評価表から工賃向上計画に沿ったものに変更が必要と課題が残った状態である。

利用者支援においては、個別支援計画書に沿った指導・支援を行い、担当者会議では利用者本人の参加を意識し、利用者の意見を反映させた会議の実施や計画書作成を行った。

### 1. 個別支援計画に沿った支援の充実

各利用者の個別支援計画に基づいて、本人の参加と定期的に相談支援事業所も含めた会議を持ち、計画に沿った的確な支援を行えるよう努め、モニタリングやサービス担当者会議の実施。

また支援日誌や朝礼日誌の情報を職員で共有し、全職員が共通して利用者の生活面や健康面、作業中の問題などに対して認識して、利用者支援が出来るよう努めた。

### 2. 工賃向上計画について

事業所総支給額 目標工賃 24,223円/月額

R4年度までの工賃実績報告の算出方法は、

工賃支払い総額÷支給延人数＝平均工賃月額

となっていたが、R5年度の工賃実績報告より算出方法が変更となった。

年間延べ利用者数÷年間開所日数（269日）＝平均利用者数

工賃支払総額÷平均利用者数÷年間開所月数（12月）＝平均工賃月額

平均工賃月額と時給額

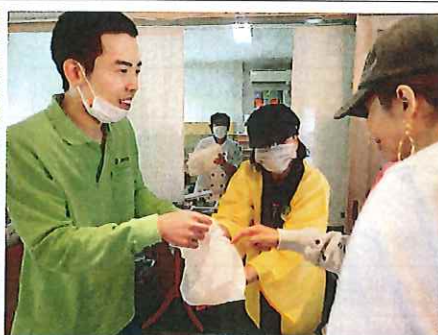
平均工賃月額				平均工賃時給額		
総支給額	平均利用人数	開所月数	平均工賃月額	総支給額	就労時間	平均時給額
8,469,161	28.1	12	25,116	8,469,161	46,173.1	183.4

〈年間行事報告〉

月	日	曜日	行 事 名	内容
4	2	火	花見散歩（軽作業課合同）	施設行事
4	29	月	パールハイムまつり	販売
5	3-5	金-日	三彩の里 陶器まつり（3日間）	販売
6	19	水-金	ふれあい観光通り販売（3日間）	販売
6	23	日	ハートパルまつり	販売
6	29	土	パンビュッフェ（パン販売）	販売
9	27-30	金-月	ふれあい夢彩都販売（4日間）	販売
10	12-13	土-日	三彩の里 彩フェスタ（2日間）	販売
10	20	日	大村市健康福祉まつり	販売
11	26-28	火-木	はあと屋オータムフェスタ（3日間）	販売
12	4-6	水-金	長崎市農福連携販売会（3日間）	販売
3	25-27	火-木	ふれあい観光通り販売（3日間）	販売



大村公園花見散歩



彩フェスタ



シュトーレン

[カフェボンヌ]

令和6年度は、以前よりカフェでパン販売をして欲しいという声があり、新たな試みとして水・木曜日はカフェでパン販売を行い、土曜日はカフェ業務を行った。

また、パン工房とコラボでコロナ前に定期的に行っていたパンビュッフェを実施し、久しぶりのイベントでは利用したお客様に喜んで頂いた。

ただ、カフェの営業日数が少ないことやパン販売が主体になっていることでカフェ本来の役割から外れているという意見があり、1月より業務の見直しを行い、令和7年度より以前の体制（火～土曜日営業）でカフェを主体とし、パン販売も並行して行うこととなった。準備に当たっては、カフェメニューの見直しや希望する利用者もカフェに配置し、技術指導等を行った。

### [軽食ターンマーク]

令和6年度は、店舗外の活動として6月に大村市で開催された「ハートパルまつり」に出張お食事処としてターンマークで提供している商品（うどん、カレー、天ぷら等）を販売し、店舗外のお客様にもお食事処ターンマークを知って頂くことが出来た。

また、8月には競艇企業局の主催でイベントがあり、2日間限定で舟券（500円以上）を購入された方にターンマークで提供しているカレーを食べられるイベントが実施され、日頃利用されているお客様以外の方にも利用して頂けた。

ただ、原材料・光熱水費等の高騰は依然と続いている状況であり、全てのメニューの原価計算やメニューの見直し等を行った。

利用者支援では、接客、調理、調理補助、清掃等幅広い作業が出来るように指導、支援を行なってきた。

### [軽作業課]

施設内の作業は、野菜受託加工作業を中心に行った。野菜の計量、結束、箱詰め、計量の確認作業の指導、施設外の清掃業務は中心市街地複合ビル、ハイテク記念公園等の清掃指導を行った。利用者の作業技術の向上等の評価から4名の利用者の工賃アップを達成することができた。また共同受注センターの業務委託では除草作業を行った。熱中症等の対策の徹底等、可能な限り利用者が安全に作業を行えるよう努めた。

#### (施設外作業別の回数と出席回数)

##### ハイテク記念公園清掃

清掃回数 月10回 年120回 参加利用者数 6名

内 容 駐車場・広場の掃き清掃、公衆トイレ清掃、月1回の除草作業

##### 中心市街地複合ビル清掃（通常清掃）

清掃日数 月曜～金曜（祝日含む）12月31日、1月1日を除く年259回、参加利用者数6名

内 容 1階 玄関、エントランス、ロビー、廊下、給湯室、階段喫煙所

2階 廊下、給湯室、階段

5階 廊下、給湯室、階段、会議室3部屋、和室

6階 廊下、給湯室、階段、会議室4部屋、和室2部屋、講座室2部屋、

活動室

##### 中心市街地複合ビル特別清掃（ワックス剥離、ワックスがけ）9月～12月

内 容 1階 廊下

2階 廊下

3階 廊下、相談室5部屋、スタッフルーム

4階 廊下、大会議室、相談室3部屋、サークルルーム、ボランティアルーム

講座室、ライブラリー室

5階 廊下、中会議室、会議室、小会議室

6階 廊下、小会議室4部屋、講座室、活動室

## 除草作業

作業期間		曜日	発注元	作業日数	延人数	
月	日				職員	利用者
5	20～6/7	月～金	大村市新幹線まちづくり課	9	16	24
7	17～8/9	水～金	長崎県教育庁学芸文化課	12	22	21
7	18. 19. 27	木、金、土	長崎労働局	3	7	10
7	29～8/23	月～金	大村市新幹線まちづくり課	5	5	9
9	17～10/4	月～金	大村市新幹線まちづくり課	6	6	13
11	16～11/29	月～金	長崎県教育庁学芸文化課	9	19	30
11	25～12/13	月～金	大村市新幹線まちづくり課	6	14	27
1	10	金	長崎県地域環境課	1	2	3
3	8. 11. 12	土、火、水	長崎労働局	3	5	12

## 4. 生活支援について

令和6年度も利用者の居室管理を生活支援員と利用者自身にもチェックをしてもらい、整理整頓に対する意識の向上を図った。また、コロナによって中止してきた行事も徐々に再開し、様々な施設行事を行った。

### 〈年間行事報告〉

月	日	曜日	行事内容	項目
5	3-5	金-日	三彩の里 陶器まつり (3日間)	販売
5	24	金	陶器まつりお疲れ様会	行事
5	29	金	チャレンジデー	行事
6	13・20 7/3		長崎リハビリテーション学院 サービ斯拉ーニング	実習指導
6	10-28		虹の原特別支援学校 (高等部) 実習受け入れ	実習指導
6	10-28		川棚特別支援学校 (高等部) 実習受け入れ	実習指導
7	30	火	避難訓練 (自主訓練)	行事
8	16-9/15		長崎国際大学社会福祉士実習指導	実習指導
8	1-9	木-金	鎮西学院社会福祉士実習指導 (2名)	実習指導
8	2	金	虹の原特別支援学校事業所説明会	説明会
8	9	金	納涼祭	行事
9	2	月	防災の日 (ビデオ鑑賞・防災食)	行事
9	7	土	花火打ち上げ	行事
9	21	土	買い物訓練 (B型・生活介護)	行事
9	30-10/11		川棚特別支援学校 (高等部) 実習受け入れ	実習指導
10	12-13	土-日	三彩の里 彩フェスタ (2日間)	販売
11	2	土	立浪部屋力士との交流 (ワーキングヒルズ)	見学

11	11-21		虹の原特別支援学校（高等部）実習受け入れ	実習指導
12	18	水	合同避難訓練	行事
12	19	木	利用者忘年会	行事
12	27	水	餅つき	行事
1	20	月	還暦のお祝い	行事
1	29-2/7		虹の原特別支援学校（高等部）実習受け入れ	実習指導
2	3	月	豆まき	行事
2	10	月	初午祈願	行事
3	3	月	ひな祭り（イベント食）	イベント食
3	15	土	地域連携推進会議	会議

※毎月1回土曜日 希望する利用者の買い物訓練を実施



「陶器まつりお疲れ様会」



「チャレンジデー」



「2024 三彩の里納涼祭」



「立浪部屋力士とのふれあい」



「令和6年度 三彩の里 利用者忘年会」

## 5. 保健衛生面について

5 類移行した後もコロナウィルス感染対策の他、インフルエンザ等の感染症対策を継続して行い、マスク着用・手洗い・消毒・検温の徹底を行った。

## 6. 給食について

7月よりみらいフード株式会社へ給食提供を委託。毎月1回みらいフード株式会社と三彩の里で会議の場を持ち、情報共有や食事面の問題点などの検討を行った。

## 【生活支援面】

### 1. 個別ニーズに応じた日常生活支援

1)利用者様個々に対し必要に応じアセスメントを行い、利用者のニーズに応じた支援計画を立案し計画に沿った支援を行った。

2)各関係機関等と連携し、随時支援状況の評価・検討を行った。

3)個別の移動状況に応じた支援を行いながら、残存能力の維持に繋がるようリハビリテーションやレクレーションの声掛けを行った。

4)利用者それぞれの能力を活かしながら、出来ない部分を補う形での食事介助や排せつ介助、入浴介助、洗濯、居室清掃など自立支援を行った。

### 2. 機能回復訓練

1)月1回、理学療法士に來所して頂き、個別訓練プログラムを立てることでそれぞれに適したリハビリテーションを実施した。

### 3. 介護

1)担当職員が同じレベルで食事介助や排せつ介助、入浴介助が行えるよう、生活支援会議、サービス利用担当者会議、ケア会議など実施し職員間の共通認識を図った。

### 4. 社会資源の活用

1)感染対策を実施しながら季節を感じられる「花見(桜)」「花菖蒲見学」「納涼祭」「忘年会」などを実施した。

コロナ前に通年行っていたイベントを実施できるようになった。

2)月1回、理容師に來て頂き散髪支援を実施した。

3)月2回の注文による買物支援や利用者様からの依頼があり自力では困難な場合は職員同伴での買い物支援を実施した。



大村公園花見



花菖蒲見学



納涼祭



利用者忘年会

## 5. 作業訓練について

生活介護利用者の生産活動はリハビリを主な目的として行い、作ることの喜びや達成感により作業に対する意欲が高められた。利用者が意欲的に生産活動に取り組める環境を整え、精神面、肉体面の向上に繋がるよう努めた。

### 【保健衛生面】

#### 1. 日常の健康管理

1) 朝礼や昼礼などで具合が悪い利用者がいないか聴き取りを行った。

服薬の介助、薬の管理を行い、体調不良時には通院（受診、薬の受け取り）居室や医務室での静養、検温や血圧測定を行い、職員間では朝礼で報告をし、情報交換を行った。

2) 高血圧で内服治療中の利用者は（19名）で、自分で測定できる利用者には、測定ノートに記入していただき、通院箇所との連携を取った。

3) 糖尿病で内服治療中の利用者には医務室で預かり、服薬支援を行った。低血糖や高血糖がないか観察を行い、通院時報告をした。

- 4) 服薬管理は、本人の確認・薬袋の名前の確認・服薬時間の確認を行い、服薬支援を行った。お薬カレンダーへのセットは看護師1名・夜勤者1名でチェックを行った。
- 5) 月1回の体重測定を実施。±5Kgの利用者には嘱託医に相談し検査を行った。増量した利用者は1名で、精神疾患の方であった。担当医に相談し、検査と少し間食を控えるよう対応した。
- 6) 歯科往診では、治療と健診を実施し、必要な利用者にはブラッシング指導、介助が必要な利用者にはブラッシング支援を行った。また、「大村市障がい福祉課の健康づくり」の取り組みとして、歯科衛生士、保健所、国保健康課へ相談し指導を受けた。
- 7) 皮膚疾患の利用者は適宜往診と通院を行い、処方された軟膏処置を行った。

## 2. 定期健康診断

- 1) 入所者、夜勤者は1年に2回の定期健康診断を実施した。
- 2) パート、通所者、グループホームの世話人さんには年1回定期健康診断を実施した。
- 3) 35歳以上の職員は協会けんぽの健康診断を年1回実施した。
- 4) 異常が認められた利用者には、嘱託委に相談し再検査を実施、通院されている利用者には、本人の許可をとり通院箇所の主治医にも情報の共有を行った。

## 3. 感染症等の予防対策

- 1) 感染症対策委員会を年4回開催し、また流行時はその都度研修会を行った。
- 2) 熱中症や季節性インフルエンザ、ノロウイルス等、感染症への対策として、利用者には画面を通しイラストで感染予防指導を実施、スタッフには朝礼や会議等で勉強会を行った。
- 3) インフルエンザワクチンを希望する利用者への対応。接種予約、接種同行、副反応への対応等を実施した。インフルエンザワクチンの接種率は79%。新型コロナウイルスは各回、各住民票がある市に報告を行い、接種券を送っていただいた。

## 4. 居室衛生管理について

- 1) 半年に1回程度、殺虫剤を使い居室の害虫駆除を実施した。適宜、居室や発生しやすい箇所には、駆除剤を設置した。

## 5. 入院及び通院状況

入院・通院状況は利用者の高齢化や重度化もあり、新しく入所された利用者で、1人で数件通院されている方も多くなった。入院した利用者は6名で精神2名、骨折2名、肺炎1名、鼠経ヘルニア1名だったがそのうち2名が手術目的だった。入院された6名中の2名は、歩行が難しく車いすとなり、誤嚥性肺炎も繰り返す事となり退所となった。

### 入院状況

年齢	性別	病名	入院日数
57歳	男性	精神	51日
46歳	男性	精神	21日
54歳	女性	骨折	54日
72歳	女性	骨折	74日(その後退所)
57歳	女性	肺炎	13日(その後退所)
71歳	男性	鼠経ヘルニア	7日

### 通院状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
内科(神経内科含む)	25	22	21	26	29	30	30	20	29	27	27	25	311
外科(神経外科含む)	3	2	1	3	6	1	6	4	4	3	3	4	40
泌尿器科	2	4	1	3	2	3	4	2	1	2	1	2	27
眼科	2	2	1	1	0	5	1	1	4	0	2	1	20
精神	5	6	11	7	10	8	9	8	12	8	4	13	101
皮膚科	4	1	1	3	6	1	3	1	2	1	6	5	34
耳鼻科	3	2	1	0	2	0	2	3	1	1	0	2	17
歯科	14	11	12	15	13	11	13	10	11	15	15	14	154
その他(検査含む)	3	1	1	2	2	2	5	0	1	2	0	2	21
合計	61	51	50	60	70	61	73	49	65	59	58	68	725

### 【給食部門】

給食部門は、令和6年8月より「みらいフードサービス株式会社」へ完全委託した。

## 令和6年度 施設入所支援事業報告

### 1. 生活支援について

#### 1) 個別支援サービスの充実

利用者様個々に対し必要に応じてアセスメントを行い、サービス管理責任者を主体にケア会議を開き、利用者様個々のニーズや希望に応じた支援計画書を作成し計画書に沿った支援を実施した。個別支援計画書の支援期間は6ヶ月とし見直しを行った。

#### 2) 相談支援について

必要に応じて個別面談を実施し、生活状況の把握に努めた。また、利用者様の担当相談支援事業所と連携し迅速な対応を行った。

### 2. 介護支援について

利用者様の身体状況の変化等に応じ、サービス管理責任者を主体にケア会議を開き個別に応じた食事介助や入浴、排泄などの介護支援に努めた。

### 3. 災害（火災・自然災害）及び施設整備について

火災・夜間想定の避難訓練を実施した。

実施日：7月30日、12月18日

内容：消防署及びSUMCO TECHXIV様にご協力いただき、  
避難訓練、通報訓練、水消火器を用いた消火訓練を実施した。

### 4. 虐待対策について

虐待対策・防止について、職員全員参加の施設内研修を実施した。

### 5. 苦情解決について

令和6年度の苦情受付は、3例あったが解決済みとなっている。

- ・男性利用者が女性利用者の体に触るセクハラ行為
- ・杖歩行の利用者が車椅子利用者の頭を自分の杖で叩く暴力行為
- ・ご家族へ時間変更の連絡が遅くなり、急な変更に対応出来ない利用者がパニックをおこしてしまったと、ご家族からの苦情あり。

### 6. 施設入所者数の現員及び入退所者数について

#### 1) 令和6年4月～令和7年3月の施設入所者数

令和6年4月末日現在 定員 40名 現員 35名。

令和7年3月末日現在 定員 40名 現員 34名。

2) 令和6年4月～令和7年3月の入退所者数

入所者数 2名、退所者数 3名。

3) 入所者の1名は、生活介護サービス利用、1名は就労継続支援B型サービス利用の施設入所支援となっています。退所者の3名に関しては、ご本人の希望で他の施設へ移動された。

## 令和6年度 共同生活援助『ぱびるす』事業報告

### 1. サービス内容について

食事の準備や居室清掃など専属の世話人のもと、家庭的な雰囲気の中で利用者間の交流・親睦を深めた。

食事については、利用者の喜びに繋がるようリクエストに応じた食事メニューの提供や、健康状態に合わせた食事メニューの提供を実施した。

また、通院時の送迎・買い物等の支援も必要に応じて実施した。

### 2. 行事について

陶器まつり、彩フェスタ、利用者忘年会、地域清掃活動等の行事に参加し、施設利用者や地域の方々と交流することができた。

### 3. 職員研修について

施設内では、利用者への支援のあり方についての内部研修を実施し、生活面等のサービス検討について、施設長、管理者、世話人で月1回会議を実施した。

### 4. 緊急時等における対応

令和6年度中は生活面で利用者に大きな問題はなく、体調の急変等見られなかったことから、緊急で対応することはなかった。今後も、体調の急変等による緊急時には、速やかに管理者に報告すると共に主治医に連絡をとる。

### 5. 災害対策について（火災・自然災害）

施設で実施される避難訓練には、施設の利用者と共に GH 利用者も参加した。また、自然災害に対する備え等について、世話人、利用者と共に意識づけを図った。

### 6. 虐待対策について

日頃より電話連絡や週1回グループホームを訪問した際に世話人と連携をとっており、グループホームの各居室にも伺って何か変化等がないか、利用者とのコミュニケーションを図るなかで確認を行った。また月1回行っているグループホーム会議のなかで年に1度、虐待防止の内部研修を実施した。

### 7. 苦情解決について

苦情解決については、利用者や世話人からグループホームの生活について聞き取り等を行い、グループホームにも苦情解決の対応について掲示を行なっている。利用者間での問題はあったが、その都度の聞き取りを行って早期解決に努めたことから、大きなトラブルもなく仲良く生活を送ることが出来た。

